

かみたに 瓦版

京都市会議員
神谷修平



亀岡市
「子どもファースト」宣言の
具体的な支援策

- ・第18歳までの医療費の無料化
- ・第2子以降の保育料の無料化
- ・保育施設でのおむつの提供・処理
- ・児童館の2人目以降の無料化など

他都市では子育て支援の拡充に向け大きな動きが…

出生数の減少や子育て世帯の流出は全国の多くの自治体でも重要な課題、他都市では課題解決に向け大きな動きを見せてています。お隣の亀岡市でも子育て支援の拡充が実施予定です。

今後の動きとして、府内の自治体が亀岡市に追随し、子育て支援の拡充を実施することも十分考えられ、そうなれば、今以上に本市から子育て世帯が流出し、人口減少や少子化にさらに拍車がかかることも予測されます。

子育て政策は、そもそも自治体の財政力格差に左右されるべきではなく、本来であれば国が制度設計すべきだという考え方も分かります。しかし、他の自治体では、改革などを進め、何とか財源を確保し、国に頼らない独自の子育て支援拡充の動きが進んでおり、周辺自治体が子育て世帯への施策を打ち出させておらず、さらなる出生数の減少、子育て世帯の流出の可能性が高まっている危機的な状況なのです。



- ① 子ども医療費をもつと安く！
- ② 保育料の値上げの撤回！
- ③ 使用済み紙おむつの持ち帰り廃止！

私はそうではないと思っています。
そこで、以下の子育て支援の拡充を
市長に対し求めました!!

京都市は少子化と
子育て世帯の流出が深刻!!

地蔵盆に顔を出した際に「昔は

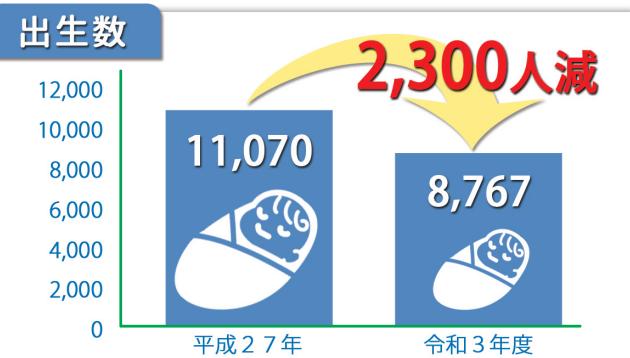
もっと子どもが多かつたけど、今は
町内に子どもがほとんどいない。」とい

った切実なお声をお聞きしました。
それもそのはずで、京都市の出生数は

11,070人だった平成27年度から
毎年減少し続け、令和3年度の出生数

は8,767人と、2,300人以上
減少しているのです。

さらに、本市の人口流出は、年齢別に
見てみると、20代、30代のいわゆる
若者・子育て世帯の転出者数が特に
多い状況です。このまま出生数の減少、
子育て世帯の流出が続けば、地域社会
の活力の低下や税収減につながり、
今後の都市の機能の維持や成長に
とつて極めてマイナスとなります。



子育て支援の拡充を!!

京都市でも、思い切った子育て支援の拡充が必要だと考え、市長に以下3点を今回訴えました。

1 こども医療費をもっと安く!



こども医療費支給制度について、現在、京都市では3歳までは1医療機関につき月に200円まで、3歳から中学生までは医療機関の数にかかわらず月に1,500円までが保護者の負担となります。一方、府内の他の自治体では、独自に上乗せを行い、現在4つの自治体が無料化、19の自治体で中学生まで1医療機関につき月に200円となっており、京都市の負担は府内で一番大きい状況です。京都市は子育て世帯の流出は危機的な状況であり、早急に支援の拡充が必要であることから、こども医療費支援の拡充を求めました。

こども医療費の支援拡充については、京都府と連携を図りながら検討を行っていくとの答弁をいただきました。早期に実現していただけるよう、また将来的には無料化を目指していくよう引き続き訴えて参ります！

3 使用済み紙おむつの持ち帰り廃止！



保育園で保育士の方が使用済み紙おむつをお子さんごとに仕分けをし、保護者の方が自宅に持ち帰ることになっている民間保育園が市内で約4割あり、これは保護者と保育士どちらにも負担となっています。使用済み紙おむつの処理費用に関しては、必要額を園ごとに補助することで、希望される園すべてで保護者負担無しで紙おむつが処分されるよう求めました。

この件は以前から訴えており、その結果、市立園では持ち帰りが廃止となりました。今回の答弁では、民間園では補助金を出しているので各園で判断してもらうということですが、希望する全ての園で廃止となるよう引き続き訴えて参ります！

2 保育料の値上げの撤回！



昨年度から保育料の値上げが検討されております。しかし、コロナ禍や物価高が続く中、苦しい家庭が増えています。現在は据え置きとなっていますが、保育料の値上げは今後もしないと明言することを市長に求めました。

令和5年度については保育料を据え置くとの回答がありました。それ以降については検討というような曖昧な回答でした。子育て世帯の流出が危機的な状況で、子育て支援を縮小するなど考えられません。今こそ子育て支援を拡充すべきだと考えます。引き続き訴えて参ります！

今回ご提案した内容は、まだまだ一部ですが、実際に子育てをされている保護者の方々からいただいたご意見を踏まえ、質問いたしました。少子化対策や子育て世帯の定住には、子育て支援だけでなく、住宅政策など多くの施策に総合的に取り組むことが必要であることは十分承知しておりますが、現在の京都市の子育て支援は、正直申し上げて、子育て世帯の本当のニーズを捉えた支援が実行されているとは決して言えません。京都の未来のためにも、子育て世帯の方々のお声にしっかりと耳を傾け、「京都で子育てすることを選んでよかった」と多くの方が実感の持てる施策を行っていただくよう今後も京都市に対し提言を続けて参ります！！

実現!! 地下鉄五条駅の水漏を改修！

地下鉄五条駅において、損傷から雨が溜まり滑りやすい箇所があり赤いコーンが置かれています。地域の方から、「結構長い期間そのままであり、多くの人が通る通路の真ん中でもあるので、対応してほしい。」というお声をいただき、交通局の方にご相談しておりましたところ、早期に改修をしていただきました！

現在、地域の方々から様々なご相談をいただいております。引き続き解決に向け取り組んで参ります！



神谷修平プロフィール

1986年11月19日生まれ 関西学院大学卒業
・文化財保存修復師として約10年間
　国宝・重要文化財の絵画の修理に携わる。
・バスケットボール部に中学から高校まで、6年間所属
・妻と子供2人の4人暮らし
・常任委員会では、教育福祉委員会に所属
・京都ハンナリーズを支援する京都市会議員連盟
・京都サンガF.C.を支援する京都市会議員連盟

SNSのご案内



日々の活動や想いを発信しています。
フォローお願いします!!

神谷修平



LINE公式アカウントを開設しました!!

